

宇都宮市総合計画市民懇談会について

1 宇都宮市総合計画市民懇談会について

「宇都宮市総合計画基本計画」の策定に当たり、様々な分野の市民の代表から本市のまちづくりに関する意見を聴取し、計画に反映させるため設置したもの

※全体会及び分科会により構成し、委員は、学識、公募、関係機関・関係団体役員26名

2 宇都宮市総合計画市民懇談会 会議経過

第1回 全体会・第1回 分科会（平成28年10月24日）

・「総合計画の概要及び第6次宇都宮市総合計画策定大綱」 などについて

第2回 分科会（平成28年11月24、25日）

・「第5次総合計画後期基本計画評価の取りまとめ」 などについて

第3回 分科会（平成29年1月19、20日）

・ワークショップ形式による意見交換

第2回 全体会（平成29年2月16日）

・「意見書」の取りまとめについて

手交式（平成29年3月10日）

3 意見書について

資料4別紙5のとおり

4 主な意見の概要（共通事項として、多くみられる意見の一部）

- ・ 人口減少局面への突入に当たり、行政だけでまちづくりを進めることは困難であり、あらゆる分野において、市民、地域、行政の更なる連携とその仕組みの構築の重要性が求められていくこと
- ・ 本市が持つ魅力ある様々な地域資源や各種行政サービスなどの市内外に対する情報発信の重要性はますます高まっていくことから、それらに適切に対応していくこと
- ・ 時代潮流を的確に捉え、様々な分野に対して横断的かつ柔軟に取り組むとともに、急速に進展する情報通信技術等の導入を検討していくこと